

529ヘクタールの水源の森からのホットな情報発信

第59号

2008年4月

やどりき水源林ニュース

発行 (社)かながわ森林づくり公社県民運動課

編集 かながわ森林インストラクターの会

〒258-0021 足柄上郡開成町吉田島2489-2

☎0465-85-1900

URL: http://www.ny.airnet.ne.jp/k_sinrin

定例観察会のお知らせ

毎週土曜・日曜および祝日に「かながわ森林インストラクターの会」会員が水源林をご案内します。午後1時まで、やどりき水源林ゲート前までお越しください。なお、冬季(12月下旬・1月・2月)は安全確保のため休止します。



(やどりきの里)



(土佐原のしだれ桜)

水源林の玄関、やどりきの里は春らんまん、高台にある土佐原のしだれ桜は見事でした。中央の桜はビジターセンターです。バス停横の林道に向かう道路はいつも河原で憩う人たちの車がいっぱいです。



(橋の袂のジュウガツザクラ)



(河原の向う正面山の中腹が成長の森)



(成長の森案内図)

やどりき水源林の入口では、ジュウガツザクラが赤い橋の袂で迎えてくれます。林道終点のゲートを入り、林道を15分程登り、左側の堰堤を過ぎ、開けた河原の先、対岸に「成長の森」植栽地が見えます。更に林道を上ると「成長の森」の案内図があります。(案内は上右端写真の看板までになっています)。「成長の森」は幾つかの区画に分かれて、ケヤキ、ホウノキ、イロハモミジ、ヤマザクラ、クヌギ、カツラ、ヤマボウシ、コナラなどの広葉樹が植えられています。



「成長の森」の入口には区画ごとに、お子様の名前と生年月日が書かれた連名銘板が設置されています。昨年植えたカツラが早くも、元気に芽吹いています。他の樹木ももうすぐ芽吹き、下草も育ち、緑いっぱいになることでしょう。杉林の明るい縁には、スマレが咲き始めています。



薄紫色の花はタチツボスマレ、エイザンスミレやケマルバスミレは蕾がほころび始めています。杉の切株に、ヒノキとスギの稚樹（実生）が元気に育っています。切株や倒木は、適当に水分を含み栄養分もあるため、稚樹が育ち易いようです。日当たりの良い草原では、越冬したキタテハが絡みながら飛んでいました。

<p>やどりきのスマレ 水源林には8種類のスマレがあります。 タチツボスマレ；3～5月、花は淡紫色、地上茎を伸ばす。類似の白花はオトメスマレと言われています。 アカネスマレ；3～4月、帯赤紫色の花、全体に毛が多い。 ナガバノスマレサイシン；3～4月、白～淡紫色の大輪、花後の葉が大きくなる。</p>	<p>ケマルバスミレ；4月、白花、葉は丸形で毛が多い。 エイザンスミレ；4月、白～淡紅紫、葉は細かく切れむ。花後、変形し大型になる。 ツボスマレ；4～5月、小さな白花、地上茎を伸ばす。 コミヤマスマレ；4～5月、白色の小花、湿気のある日陰に育つ、葉の主脈が紫色を帯びる。</p>
---	--

<p>4月のトピックス ・4月初めての「成長の森」見学のご家族が訪れました。家族4人で、快晴に恵まれ、爽やかな水源林の春を満喫されたことでしょう。 ・春は動物の動きが活発です。カワガラスが沢筋を飛んでいます。ミソサザイの声が谷間に響いています。鹿の集団も見られます。</p>	<p>今月の見所・聴き所 ・ジュウガツザクラやソメイヨシノが最盛期を迎えます。 ・スマレがいろいろな種類の色で若葉の樹下を彩ります。 ・カジカガエルがそろそろ鳴き始めます。どこにいるか河原の石の色に惑わされます。</p>	<p>5月の見所 ・各種のウツギが開花します マルバウツギ、ウツギ ガクウツギ、ニシキウツギなど ・ジャケツイバラの黄色い花が見事です。 ・オオルリなどの夏鳥が飛来します。</p>
--	--	--